

## クリニカルラダー評価票の記入の仕方

1. 「所属、経験年数、年齢、職員氏名、評価年月日」欄に記入する。
2. 「能力・資質項目」ごとに自分を評価して「保有水準」欄に該当する水準の数字を で囲む。

\* 判断基準に照らし合わせて、1つでも該当すれば、この保有水準とする。

**5**: 自分だけで十分にできるし、詳しく知っている。発展させ工夫や改善も指導もできる。  
**4**: かなり良くできる方だし、良く知っている。

**3**: 誰の支援がなくても、自分ひとりで一応はできる。  
 ある程度の仕事は任せてもらってもこなせる。

| 所属   |      | 経験年数                    | 年齢 | 職員氏名 | 評価年月日:<br>評価者 ( 他者評価・自己評価 ) |
|------|------|-------------------------|----|------|-----------------------------|
| NO.  | 要求水準 | 能力・資質項目                 |    |      | 保有水準                        |
| 1-1  | A    | ロール分解組立作業ができる           |    |      | 1 2 3 4 5                   |
| 1-2  | A    | ポンプの分解組立作業ができる          |    |      | 1 2 3 4 5                   |
| 1-3  | A    | 芯出し(センタリング)作業ができる       |    |      | 1 2 3 4 5                   |
| 1-4  | A    | 送風機の分解組立作業ができる          |    |      | 1 2 3 4 5                   |
| 1-5  | A    | 弁摺り合わせ作業ができる            |    |      | 1 2 3 4 5                   |
| 1-6  | A    | 減速機の分解組立作業ができる          |    |      | 1 2 3 4 5                   |
| 1-7  | A    | 圧縮機の整備作業ができる            |    |      | 1 2 3 4 5                   |
| 1-8  | A    | 機器の異常時の対応処置を決定することができる  |    |      | 1 2 3 4 5                   |
| 1-9  | A    | 機械据え付け手順を知っている          |    |      | 1 2 3 4 5                   |
| 1-10 | A    | タービンの整備手順を実施できる         |    |      | 1 2 3 4 5                   |
| 1-11 | A    | 熱交換機の整備ができる             |    |      | 1 2 3 4 5                   |
| 1-12 | A    | シリンダーの分解組立作業ができる(油圧・空圧) |    |      | 1 2 3 4 5                   |
| 1-13 | A    | きさげ作業ができる               |    |      | 1 2 3 4 5                   |
| 1-14 | A    | 他職種の作業者でも不安全行動は注意ができる   |    |      | 1 2 3 4 5                   |
| 1-15 | A    | 安全を常に行動にして作業できる         |    |      | 1 2 3 4 5                   |
| 1-16 | B    | 安全に対する確実な知識がある          |    |      | 1 2 3 4 5                   |
| 1-17 | B    | 就業規則を守れる                |    |      | 1 2 3 4 5                   |

**2**: あまり知らないし、できない。先輩や周りで支援されればなんとかできる。  
**1**: 自分一人では全くできないのだけれど、多少の経験や知識はある。  
 だれか支えてくれないと支援しないときないし、不安である。

